

一般質問

市政への一般質問（質問議員が執筆しています）

半田市の北部は整備が可能な施設を調整しています。市内全体では半田空の科学館内へ新たに整備する予定です。また平日夜の時間帯の利用状況を調査するため学校の長期休暇の期間、瀬上工業雁宿ホールで学習スペースを開放する予定です。

問 学習スペースの希望が多い北部を含めて、具体的に整備される計画はありますか。

子どもたちの意見を聴き、公共施設の有効活用や民間施設との連携などにより、身近な場所で安心安全に学べる環境づくりを進めます。

問 選挙公約にある学習スペースの整備についてどのように展開する考えですか。

自分らしさと夢を育む教育を推進する取組み

竹内功治
(創造みらい半田)



問 タブレットやパソコンの活用が日常的ですが、新たな学習スペースで通信環境は整備されますか。

通信環境の整備は重要な視点と考えていますが、施設の構造や連携先の状況を踏まえて個別に判断します。

問 高校生や大学生のアイデアを反映するまちづくりを行うため、どのような取組みを進める考えですか。

若者からのアイデアを集約できるよう、市長との座談会やアイデアコンテストなど、これまで以上に若者が意見を言いやすく街づくりに関心を持ってもらえる仕組みを構築する考えです。

また市内外の若者との接点を積極的につくりながら、半田市の魅力を発信していきます。



全国的にも認知度の高いヘルプマークを身に着けることで配慮が必要な方だと視覚的な表現が可能となります。このマークのPRを強化し必要な支援が受けられるよう取り組んでいきます。

問 LiD/APDは広く啓発活動を行うことで支援や配慮につながると感じますが、半田市の考えを伺います。

LiD/APDは我が国では判断基準も定まっていない状況であり、半田市としても認識していませんでした。

問 LiD/APDに対する半田市の認識を伺います。

聞き取り困難症（LiD） 聴覚情報処理障害（APD）について

麻生七海
(公明党)



問 半田市立小中学校でLiD/APDの症状がある児童生徒は把握されていますか。

各学校に確認したところいずれの学校も、現在、LiD/APDの症状を訴える声は届いておりません。

問 LiD/APDの症状がある児童生徒への「合理的配慮」に対する半田市の考えを伺います。

LiD/APDに限らず、学習障害等を有する児童生徒に対しては、一人ひとりの特性に配慮した対応が必要であると認識しています。今後、LiD/APDの症状がある児童生徒を把握したときには、できる限りの配慮に努めていきます。



坂井美穂
(公明党)



社会全体で加齢による難聴への理解を深めるために

問 社会全体の理解を深めるためにどのような普及啓発を進めていきますか。

社会全体の理解を深めるためには、難聴への正しい対応を広く普及啓発することが重要であると考えています。今後は市民向けのリーフレット等の作成やホームページ等への情報の掲載など更なる普及啓発に努めます。

問 難聴高齢者の早期発見・早期介入には、①普及啓発②スクリーニングの実施③受診状況の把握④未受診者への再受診勧奨の4点を柱とした体制を構築すべきですが見解を伺います。



問 事業者や行政窓口での理解促進や地域全体での認知向上に向けた周知・広報、登録支援が必要ですが見解を伺います。

市民の認知向上のための啓発、事業者に対する広報を行います。当事者に対しては、愛知県聴覚障害者協会や知多地区聴覚障害者支援センターにご協力いただきます。声掛け等を行います。

電話リレーサービスおよび相手の声が読める電話ヨメタルの周知と支援について

まずは、新たに加齢による難聴についての普及啓発、高齢者へのアンケート調査によるスクリーニングに取組みます。SNSを活用するなど、幅広い世代における難聴に対する正しい理解の促進にも努めます。